

団体名		一般財団法人武蔵野市給食・食育振興財団						
①	指標名	給食・食育「フォーラム」及び「フェスタ」 来場者の前年度比増			目標値	平成24年度比増	実績値	552人
	過去の実績	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	142.2%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位: 人)	311	281	375				
	取組内容	※25年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・イベント(事業)の目的の明確化及び内容の精査 ・広報活動の強化 ・農業、商業団体等との協働の検討						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 給食フォーラムでの講演テーマを給食の基本である家庭料理、家庭での食育に設定し、より多くの保護者等の来場を目指し、会場を公会堂に変更したこともあり参加人数が増加した。						
二次評価	引き続き、市全体の食育事業と連携を図りながら、効果的な事業運営を行うこと。							
②	指標名	学校給食提供コストの前年度比減			目標値	平成24年度比減	実績値	521円
	過去の実績	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	101.2%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位: 円)	554	528	527				
	取組内容	※25年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・市派遣職員の人件費削減 ・物件費の削減 ・適正な職員数の把握及び維持						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 前年決算対比で人件費はほぼ同額、物件費で微増となり、給食提供にかかる経費総額は約0.5%の増となった。しかし児童・生徒数の増加による食数の増により、提供コストは減となっている。						
二次評価	目標達成を評価する。食材等の高騰が続いているが、質の高い給食を維持しつつ適正コストでの提供に努めること。							
③	指標名	執行体制の簡素・効率化 (市派遣職員を財団固有職員への段階的な移行)			目標値	3人	実績値	3人
	過去の実績	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位: 人)	8	3	2				
	取組内容	※25年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・市派遣職員の退職などを期に調理現場に財団固有職員を採用し、市職員から財団職員へと移行した。 現在、正職員の調理員の数は、市派遣職員9名、財団固有職員30名となっている。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・給食の安全性及び調理等のレベルを維持することを前提に、定年退職などを期に段階的に市派遣職員数を削減し、財団固有職員へ移行した。しかし、年々各施設の調理責任者、指導者が欠けてきている。財団の昇任制度により本年度から固有職員の主任職を配置したが、現在桜堤調理場で技能長が欠け、また、来年に単独校の技能主任が1名退職する代わりにすぐに務められるかは疑問であり、職員のスキルアップ等が急務である。						
二次評価	目標達成を評価する。固有職員の人材育成と合わせて、計画的に市職員の派遣解除を進めていくこと。							